

きよせ

今号の主な内容

- クローズアップ
オオムラサキの飼育事業・飼育体験を行っています … 3面
- 市民ルポルタージュ「秋津駅～せせらぎ公園を歩く」 … 2面
- コラム「消費生活相談の現場から」「地域のキズナ」 … 4面
- 年末年始のごみ収集日程／清瀬市ふるさと納税制度 … 5面

12月3日(木)～9日(水)は障害者週間

あなたのちょっとした手助けを必要としています！

「ヘルプカード」で誰もが安心して暮らせる地域社会を

市では、障害のある方が地域で安心して暮らしていくために、困った際に周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするための「ヘルプカード」を配布しています。

障害のある方は、手助けが必要であることを周囲に伝えることが

困難な場合があります。ヘルプカードをお持ちの方を見かけたら、「困っている様子なら、声を掛ける」「優先席を譲る」などの温かい配慮をお願いします。

問合せ 障害福祉課障害福祉係 ☎ 497・2073

◆ヘルプカードとは

障害のある方や難病にかかっている方のなかには、心臓・腎臓などの内部障害や、聴力・視力・発達障害・高次脳機能障害など、見た目からは分かりにくい障害がある方がたくさんいます。

また、どんな手助けを必要としているのか、周囲に伝えることが難しかったり、「自分が困っている」ということを自覚できない方もいます。

ヘルプカードは、障害のある方が普段から身に付けておくことで、日常生活や災害時などの困った際に、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするためのものです。裏面には、手助けしてほしいことや伝えたいこと、連絡先などを記載しています。



表面



■下記に連絡してください。	
呼んでほしい人の名前...	清瀬 花子
連絡先...	491-0000
呼んでほしい人の名前...	清瀬 一郎
連絡先...	492-XXXX
■私の名前...	清瀬 太郎
■緊急連絡先...	090-0000-0000
安全な場所に誘導してください。	
目が不自由です。	
周りの状況や掲示を説明してください。	

裏面(例)

※紹介しているヘルプカードは、清瀬市の場合です。他の自治体では、様式が異なる場合がありますので、ご注意ください。

◆困っている方を見かけたら

障害のある方を見かけた時に、「困っているのでは」「どのように声を掛ければよいか分からない」「どのように助ければよいか分からない」と感じたことはありませんか？

そのような時には下記の3つの点に注意して声を掛けてください。皆さんのちょっとした配慮が、障害のある方を助けます。

①「お手伝いしましょうか」などと正面から優しく声を掛けてください。

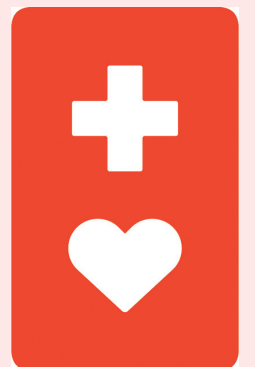
②相手が理解できるまで、ゆっくり、はっきり、丁寧な言葉づかいで話しましょう。

③ヘルプカードをお持ちであれば裏面に記載されている内容を確認してください。



東京都が作成したヘルプのサイン「ヘルプマーク」

義足や人工関節使用の方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮が必要なことを知らせるため、都が作成したマークです。ヘルプカードと同じく、お持ちの方を見かけたら、温かい配慮をお願いします。



ヘルプマーク

この機会に、一人一人が障害者福祉について考え、誰もがともに安心して暮らせる地域社会の実現を目指しましょう。

日時 12月3日(木)～9日(水)①午前10時～午後8時②午前8時30分～午後5時(②は5日(土)・6日(日)を除く)

①クレアギャラリー(クレアビル4階) ②市役所本庁舎1階ロビー

※①は主に事業所紹介、②は主に作品展示。いずれも直接会場へ。

問合せ 障害福祉課障害福祉係 ☎ 497・2073

障害者週間関連イベント 市内事業所紹介・障害のある方の作品展示

もうすぐお正月！
家族みんなで「きよせ郷土カルタ」で遊びませんか？

清瀬市郷土博物館では、開館30周年を記念し、「きよせ郷土カルタ」を販売しています。

郷土史研究家など7人で構成する「きよせ郷土カルタ制作委員会」が市内の文化財や民話施設、景観、特選品などを題材として選定し、制作委員長で市内在住の武蔵野美術大学名誉教授 根岸正氏が、44枚の絵札の原画を描きました。

読み札の裏面には題材となっている清瀬の歴史や伝統文化、文化財などの解説文があり、市民の皆さんに清瀬を広く知っていただけるものとなっています。

販売場所 市役所本庁舎1階受付、松山・野塩地域市民センター、中央図書館、郷土博物館

価格 千円(税込込み)

問合せ 郷土博物館 ☎ 493・8585



市役所本庁舎1階ロビーに展示された作品(昨年)